

日本での交換留学

復旦大学
チョウ ウイ

4ヶ月という時間は飛ぶように過ぎ、一学期の交換留学は終わりに近づき、日本に来てからの4ヶ月を振り返ると、勉強も生活面もとても勉強になりました。

授業について、指導教員の戸川貴行先生の『アジア政治文化特論』を受講し、東京大学佐川英治先生のゼミと窪添慶文先生による東洋文庫での『水経注』研究会を傍聴しました。戸川先生のゼミでは、他の三人の学生は私と研究分野が異なっていたので、みんなと交流する中で、異なる歴史時期について学び、視野を広げることができました。私もゼミのレポートに参加しました。戸川先生やクラスメートからの貴重な意見もあって論文に新たな修正を加えることができました。ゼミに参加している学生は専門分野が違いますが、戸川先生は修正のアドバイスや研究に関する書目を提供してくださり、先生の博学さには敬服しています。

お茶大の学術資源はとても豊富で、私は比較歴史学資料室で借りたり、国内では見

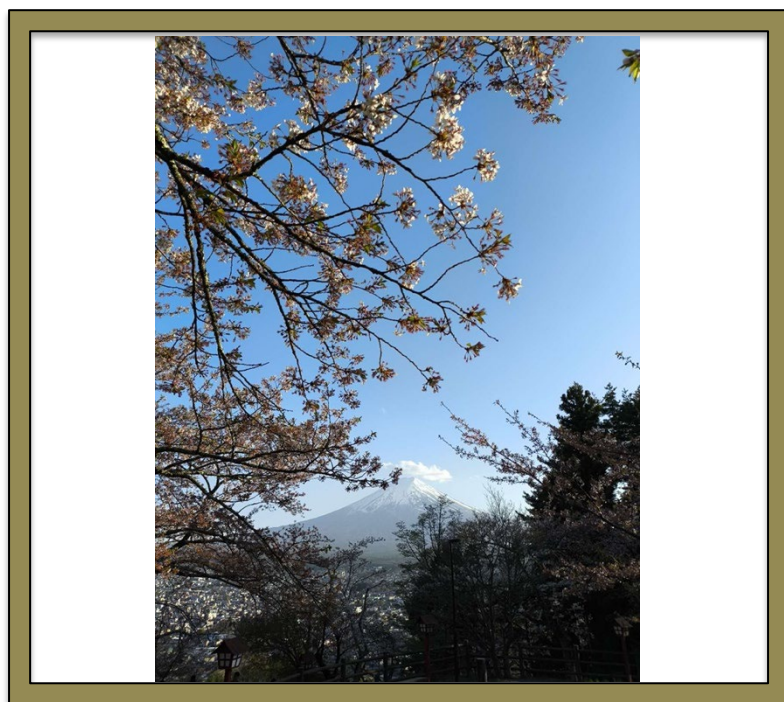
られない研究書目や論文をスキャンしたり、資料室の先生に本の借り方やスキャンの仕方を教えていただき、とても感謝しています。日本の学术界の研究の現状をよりよく理解できるようになります。

私は時間の都合上、ビンデリア先生の中上級A文法に完全に参加することはできませんでしたが、これまでの数回の授業では、先生が文法を丁寧に説明してくださり、多くの収穫を得ることができました。その後もずっと独学で日本語を勉強し、7



月の JLPT NI の試験を受けました。

勉強の合間に、日本の風情や文化をできるだけ深く体験しました。一人で日本に映画を見たり、髪を切ったり、日本のさまざまな地域を旅したり、現地の人と話したりしてみました。私は福岡、京都、仙台と奈良を訪れ、博物館、寺院、神社、宮殿を見学し、日本の歴史や東アジアの交流史についてより深く理解することができました。静嘉堂文庫の明代写本を写す機会にも恵まれました。東京国立博物館で国内では見たことのない北齊時代の文物を見たりして、書道博物館では大量の墓誌を見たりしました。



戸川先生にはいつもお世話になっており、特に学術面でのご支援には感謝しております。先生は私に東京大学の佐川先生からのゼミ情報を提供してくださったり、静嘉堂への紹介状を書いてくださったり、東洋文庫ミュージアムへの入場券をプレゼントしてくださったりしました。私のチューター 野田さんのおかげで、生活面でいろいろサポートしてくれて、いつも私の生活状況を気にかけてくれて、お茶大で資料を探す方法も教えてくれました。

国際課の荻原先生のおかげで、先生は熱心に責任を持って交換留学生にたくさんのサポートと交流の機会を提供してくれて、いつも交換留学生の生活に関心を持っていて、とても感動しました。

音羽館の管理人たちのおかげで、管理人たちは私の音羽館での生活についての疑問に辛抱強く答えてくれ、異国での生活にかなりの便利を与えてくれました。

お茶の水女子大学が提供してくれた交換の機会のおかげで、私はこの4ヶ月の生活をずっと覚えていると思います。ありがとうございます。